

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域会館整備事業(中区)				シート番号	212-009
担当部署名	中区役所	局	部	自治推進	課 評価責任者(課長名)	石井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	生活環境の充実と地域社会活動の推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市地域会館整備費補助金交付要綱、堺市地域会館大規模改修補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	本市では、昭和55年度に地域会館整備費補助制度を創設し、小学校区内に地域会館を整備することにより、地域住民の文化の向上と福祉の増進を図っている。地域会館は地域活動の拠点であり、地域コミュニティの醸成には必要不可欠な施設であることから、校区自治連合会が地域会館の建設工事・大規模改修を実施する際に補助を行うとともに、用地確保に対しても支援を行っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	校区自治連合会が実施する地域会館の整備や大規模改修事業				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	小学校区内住民のコミュニティ活動の拠点となる集会所の整備や、大規模改修を支援することにより、地域住民の文化の向上と福祉の増進を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	校区自治連合会が地域会館の整備や大規模改修を実施する際に要する経費の一部を補助。また、地域会館建設用地については、市で調達し、無償貸付を実施している。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
		各校区自治連合会					

Ⅲ. 投入量

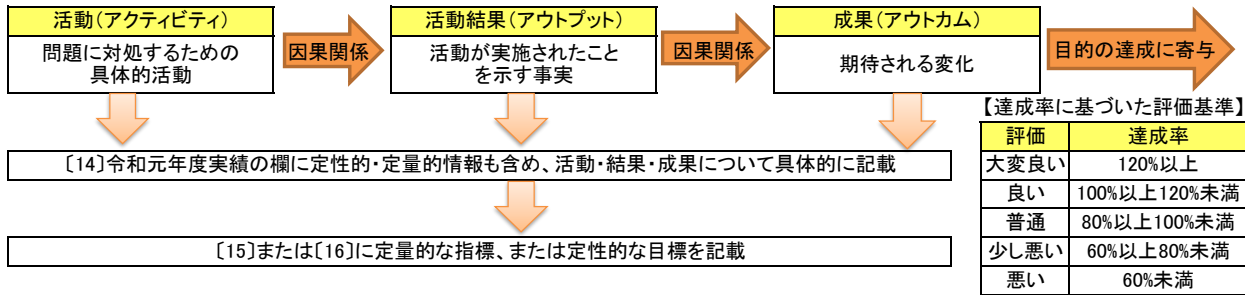
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	5,000	1,820	5,000	0	5,000	96	5,000	
	主な事業費内訳	地域会館整備費補助金(大規模改修)	千円	5,000	1,820	5,000	0	5,000	96	5,000
			千円							
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債		千円								
	その他(公共施設等特別整備基金繰入金)	千円	5,000	1,820	5,000	0	5,000	0	5,000	
	一般財源	千円						96		
12	人件費 (b)	千円	3,280	3,280	3,280	0	3,280	1,620	3,280	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,280	5,100	8,280	0	8,280	1,716	8,280	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	地域会館整備事業(中区)	シート番号	212-009
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	当該補助金は校区の要望を受け、新規整備や大規模改修に対して補助金の交付を行うものであるが、令和元年度は校区からの申請がなかったため、実施に至った校区はなかった。引き続き、校区の意向を確認しながら、自治会活動拠点として機能できるように支援を行っていく。また支出については、地域と使用賃借契約を結んでいる当該所管物件について、緊急的に修繕の必要が生じたため、予算の流用を行ったもの。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		地域会館(新築及び)大規模改修補助件数	件	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	0	0	0
				達成率	100%	0%	0%	0%
	評価			良い	悪い	悪い	悪い	
	算出方法・設定根拠など		地域会館の新築工事に対して補助を行うとともに、建替えまでの間は、大規模改修補助によって、地域会館を長期使用できるよう、支援を図る。					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		地域会館整備済校区数	校区	目標値	13	13	13	13
				実績値	12	12	12	12
達成率				92%	92%	92%	92%	
評価	普通			普通	-	-		
算出方法・設定根拠など		地域会館未整備校区の解消を図る。						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	地域会館(新築及び)大規模改修補助件数	件	1	0	0
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,100	0	0
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5,100,000		
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	校区からの新築整備及び大規模改修の要望が出なかったため、目標件数に達しなかったもの。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	地域会館整備事業(中区)	シート番号	212-009
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 地域活動の拠点である地域会館は、災害時の避難場所となる施設であり、市民の安全・安心に必要な不可欠な施設である。このため、本事業を廃止した場合、自治会活動が行えなくなるなど、市民生活に多大な影響が生じる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 地域活動の拠点である地域会館は、災害時の避難場所となる施設であり、市民の安全・安心に必要な不可欠な施設である。このため、本事業を休止した場合、自治会活動が行えなくなるなど、市民生活に多大な影響が生じる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 地域会館は地域活動の拠点だけでなく、災害時の避難場所となる施設であるが、コスト縮減すれば、会館の整備や改修に支障が生じ、使用できなくなるなど市民生活に多大な影響が生じるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 消費税等の建設コストの上昇や、新型コロナウイルスとの共存などの観点を踏まえた支援内容に改善していく必要がある。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(新しい生活様式に対応)	理由・説明 新型コロナウイルスに対応した取組みも実施できるよう制度を弾力的に改善していく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の実施手法等も変化してくるものとする。そのような中、地域の自治会活動の拠点施設である地域会館の整備や大規模改修について、消費税等の建設コストの上昇のみならず、新型コロナウイルスとの共存などの観点を踏まえた支援内容を検討し、事業拡充を図っていく。		